

の場合、第1子に遺族年金の完全年金額に等しい額、第2子に「基準額」の40%、以後子供1人につき同じく25%が支給される。

5) 母親給付

3年の被保険者期間を条件として、未婚の母親に援助がおこなわれる。すなわち未婚の母親が出産した場合に「基準額」の3分の1に等しい一時金が支給され、さらに分娩前に

2か月までは「基準額」に等しい一時給付が支給され、分娩後も職業訓練等を受け、かつ適当な雇用につくまで同じ一時給付が支給される。訓練または勤務のため子供を他人にあずける場合には「基準額」の18%にあたる扶助がおこなわれる。

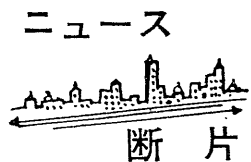
ILO, *International Labour Review*, No. 3, Vol. 95, March 1967, pp. 247~251.

(上村政彦)

第2回東南アジア・西太平洋地域 社会福祉セミナー

1967年9月18日から22日にかけて、第2回東南アジア・西太平洋地域セミナーが、東京において開催された。

このセミナーは、1966年9月ワシントンで開催された国際社会事業会議の際に行なわれた東南アジア、西太平洋地域各国代表の集会



ニュース

断片

で取決められたものであって、その後国際社会福祉協議会東南アジア・西太平洋地域事務

局、国際社会福祉協議会日本国委員会及び全国社会福祉協議会が主として準備を行ってきたものである。

このセミナーには、東南アジア・西太平洋地域から14カ国の代表と、エカフェ、ユニセフその他の国際機関、団体の代表、計156人が参加した。

セミナーの主題は「社会福祉に働く人の開発について」(Meeting the Social Welfare Man-Power Need in Southeast Asia and

Western Pacific) ということであった。

セミナーは18日午後2時より、常陸宮の臨席のもとに、華々しく開催され、引続いて全体会議が行なわれた。全体会議は主に、主題にもとづく総括的な問題提起であったが、これにはエカフェ、セイロン、香港、日本など代表が報告した。

2日目の午後からセミナーは3つの分科会にわかれて、熱心な討議が行なわれた。第1分科会は「社会変動は社会福祉従事者の需要と供給およびその職種にどのような影響を与えるか」というテーマが設定された。討論は児童福祉、青少年問題、心身障害者問題その他の分野ごとの特殊性を考慮しつつ、社会変動が社会福祉にどのような影響をおよぼすかという点を前提にして、社会福祉従事者の質の両面にわたる問題を主として行なった。第2分科会は「社会福祉従事者の養成、確保と処遇条件」をテーマとしている。ここでは社会福祉従事者は計画者、管理者であると同時に技術者であるという複数の役割をもつことを確認し、この上に立って社会福祉従事者の養成、処遇条件がどのようなものでなければ

ならないかが討論された。またこれと同時に、ボランティア活動についても言及され、このための調査、ボランティア・ビュローの設立、ボランティアの確保などが問題となっている。

第3分科会は「社会福祉従事者の訓練・研修のためのプログラムについて」というテーマで会議はすすめられた。この分科会では、まず訓練のレベルとして、(1) 政策立案者の教育訓練、(2) スーパーバイザー及び管理者

訓練、(3) スーパーバイザーと中間レベルの現業職員の訓練、(4) 現業職員の訓練、(5) 調査・評価、オリエンテーションなど現業以外の業務に携る職員の訓練、(6) 社会事業教育者の訓練などに分け、それぞれのレベルに応じた訓練・教育の在り方が討議された。

このセミナーでは、言語上のハンディキャップをのりこえ、終始熱心でかつ活潑な討議が行なわれ、各国の社会福祉の現状と、当面している課題を相互に理解するという点で、

大きな成果があった。

なおこのセミナーの議事録は、現在ボンベイの国際社会福祉協議会東南アジア・西太平洋地域事務局で取まとめを行なっているが、67年末には印刷、発表される予定である。

International Council on Social Welfare,
2nd. Regional Seminar on Meeting the
Social Welfare Man-Power Needs in
Southeast Asia and Western Pacific,
September 18-22, 1967 (Tokyo).

(三浦文夫)

社会福祉関係国際会議案内 (1968年1月以降)

1968

Int. Society for Rehabilitation of the Disabled-3rd European Seminar; June 30-July 6, Brighton, UK

I. R. Henderson
British Council for Rehabilitation of the Disabled
London W. C. I, England

Int. Society for Rehabilitation of the Disabled-4th Pan-Pacific Rehabilitation Conference; Sept. 2-8, Hong Kong

Hong Kong Joint Council for the Physically and Mentally Disabled, Hong Kong

World Federation for Mental Health-21st annual meeting and Congress; Aug. 12-17, London, UK

Mrs. Morgan
NAMH,
London

International Council on Alcohol and Alcoholism-28th, quadrennial Congress against Alcohol and Alcoholism; Sept. 15-20, Washington D. C., USA

Gus Hewlett
NAAAP,
Washington D. C., USA

14th International Congress of Schools of Social Work; Aug. 14-17, Helsinki, Finland

Dr. Katherine A. Kendall
International Association of Schools of Social Work,
New York, USA

Int. League of Societies for the Mentally Handicapped, 4th Int. Congress; Oct. (late) Nov. (early)

Akim
Tel Aviv and Jerusalem, Israel

14th International Conference on Social Welfare; Aug. 18-24 Helsinki, Finland

International Council on Social Welfare,
New York, USA

1969

11th World Congress, International Society for Rehabilitation of the Disabled; September, Dublin, Ireland

Mr. Joseph N. Malone
National Organisation for Rehabilitation, Dublin 4, Ireland

(前田大作)